

液状化危険度マップ

地震が起こるとどうなるの？

この地図は、市内の地質データを基に、「東京湾北部地震」が発生した場合における液状化における液状化の発生危険度を表したものです。

※地盤における地質の状況とそこで起こりうる地震(今回想定「東京湾北部地震(マグニチュード7.3)」)の両面から地域の液状化の危険度を示したものです。

※同じ数値強度の地盤であっても、地質の違い(例:粘土層と細砂層)や地下水位の違いにより発生率が大きく異なります。

UTM座標マップ番号
54SUE
※UTM座標とは、球形である地球を平面で表し、経度・緯度方向のグリッドで分割した、全世界共通の座標です。地図番号
経度 緯度
例:和光市役所(54SUE 7401 6058)

液状化の被害例

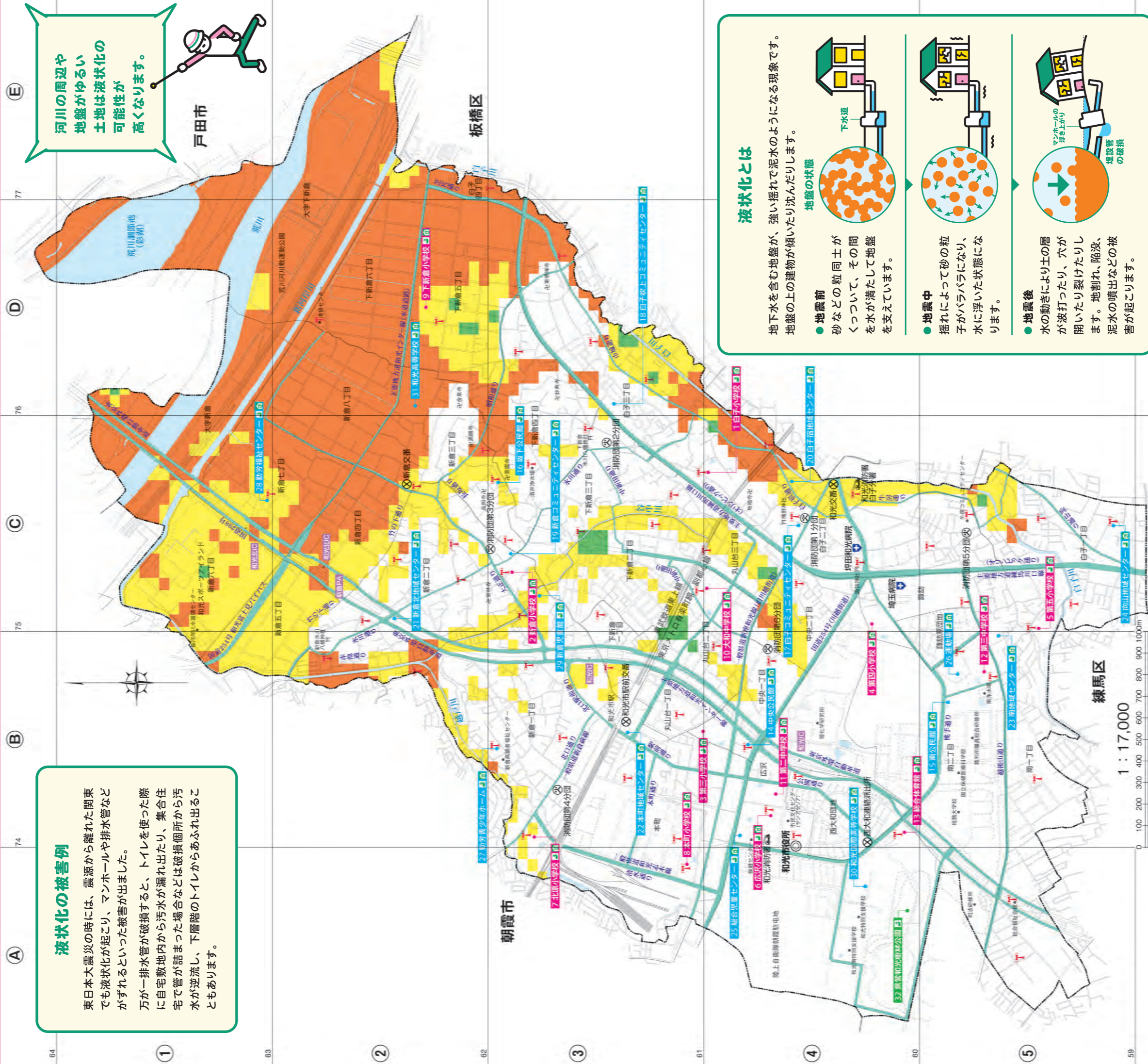
東日本大震災の時には、震源から離れた関東でも液状化が起こり、マンホールや排水管などがずれるといった被害が出ました。

万が一排水管が破損すると、トイレを使った際に自宅敷地内から汚水が漏れ出たり、集合住宅で管が詰まった場合は破損箇所から汚水が逆流し、下層階のトイレからあふれ出ることもあります。

河川の周辺や地盤がゆるい土地は液状化の可能性が高くなります。

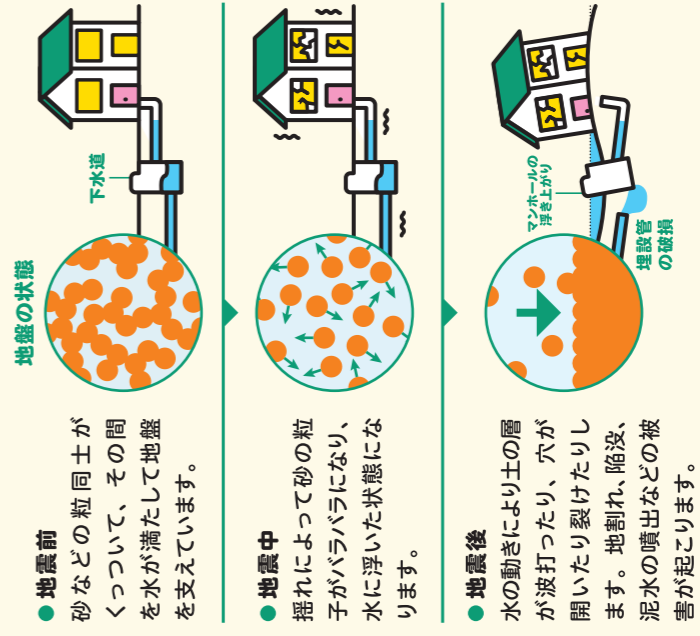


戸田市



液状化とは

地下水を含む地盤が、強い揺れで泥水のような現象です。地盤の上の建物が傾いたり沈んだりします。



液状化危険度分布

極めて低い
低い
高い
極めて高い

凡例

表記	名称	凡例	名称
+	指定緊急避難場所	+	救急指定病院
T	指定避難所	T	防災行政無線
◎	市役所	—	市界
⊗	交番	—	町丁界
☒	消防署・分署・消防団	—	避難路・指定緊急輸送道路

やってみよう

- ① 自宅の場所に○をつけよう!
- ② 自宅周辺の液状化危険度はどの程度ですか? ()
- ③ 想定している避難先はどこですか? ()